

組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	危機対策課
職	課長
氏名	荒木 浩一

組織の使命・役割	何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か
県民が安全で安心して暮らせるまちづくりを進めるため、大規模災害にも即応できる災害発生時の円滑な初動体制の確立、被災者・避難者支援対策の充実、情報収集伝達体制等の整備拡充、自主防災組織の強化、防災施設・資機材の整備などに積極的に取り組むとともに、原子力安全対策・防災対策の充実・強化を図る。	



組織の目標	使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か				
(定性的目標)	何をどのような状態にしたいか				
① 災害(武力攻撃等を含む)発生時における体制整備・確立 ② 志賀原子力発電所周辺における地域住民の安全確保等の実施					
(定量的目標)	具体的な指標、目標値を設定する				
目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)
① 県民一斉防災訓練の参加者数	300,055 人	R2年度	330,000 人	R3年度	
① 防災士の人数	7,445 人	R2年度	12,000 人	R6年度	
② 原子力防災訓練の参加者数	440 人	R2年度	2,200 人	R3年度	原子力災害対策特別措置法



令和3年度に重点的に取り組むべき課題	左記の具体的な内容を記載する
① 災害に備えた体制の強化	防災総合訓練や県民一斉防災訓練などを通じて、防災活動に関する技術の向上や県民の防災意識の向上を図る。
① 災害に備えた地域防災力の強化	自主防災組織のリーダーとなる「防災士」の資格取得のための研修支援、住民への防災・危機管理意識の啓発を図るフォーラムの開催等を行う。
② 原子力発電所に対する安全対策・防災対策の強化及び放射線・放射能に関する正しい知識の普及啓発	安全対策のための資機材の整備、オフサイトセンターの管理、防災講習会、モニタリング機器の整備等を行うとともに、放射線・放射能に関する正しい知識の普及啓発活動を実施する。

*「防災士」とは、防災に関する十分な意識・知識・技能を有し、自主防災組織のリーダーとして組織活性化に努め、地域防災力向上に資する者。NPO法人「日本防災士機構」認証の民間資格。